

## 第25回 山口市中心市街地活性化協議会（要約）

1. 日 時 平成25年5月30日（木）19:00～20:55
2. 場 所 山口商工会議所 5階コミュニティホール
3. 出席者 19名
4. 内 容

藤本副会長から挨拶の後、出席メンバーで自己紹介を行い、議事に入る。

### 【協議事項】

#### 1. 平成24年度事業報告並びに収支決算及び平成25年度収支予算（案）について

事務局から別紙資料に基づき、平成24年度事業報告・収支決算について報告。監査について藤田監事より報告。引き続き平成25年度収支予算案について説明。

～異議なく承認～

#### 2. 山口市中心市街地活性化協議会の今後の体制について

事務局から別紙資料に基づき説明。昨年度より、全体会議、運営幹事会、専門部会を置いている。昨年は、山口駅前拠点専門部会を設置し活動した。中活2期計画を策定していく中で、中活協の意見を反映していく必要があるため、必要に応じて会議を開催していく。市から意見を求められた場合については、基本的に全体会議で協議を進めていく。必要があれば、専門部会を設置する。

山口市から別紙資料に基づき説明。山口市の体制については、山口市基本計画策定委員会を設置した。委員会と幹事会を設置。委員会は関係部局の部次長で組織。幹事会は、関係部署の各課長で組織。6月5日に第1回策定委員会、幹事会を同時開催する。案ができた段階で中心市街地活性化協議会に示して、意見を聞き、今年度中に計画を策定する予定としている。

～異議なく承認～

#### 3. 第1期山口市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について

第1期計画数値目標の最終結果について山口市から報告。商店街通行量は、54,411人で達成率が97.2%となっている。小売業年間販売額は、99億5千3百万で達成率が90.5%となっている。居住人口については、4,306人で達成率が102.5%となっている。

#### <意見>

○感想になりますが、ピンクの折れ線グラフは中活事業を何も行わなかった場合の推計だということですが、実績数値よりも悪い結果を予想されている。推計値と比べると3つとも上回っている。通行量と小売額は、目標値に達しておらず、目を見張るような成果は出ていないが、東西の核施設をはじめ、中心市街地活性化については一定の成果が出ていると感じた。今後、2期計画以降も更に強化する必要がある。関係者が協力をして、同じ方向を向いて取り組んでい

く必要があると感じた。

○2期計画に向けての目標値はどのように考えておられるのか。

○検討段階ではあるが、1期計画を踏まえて、若干変更を考えている。通行量については、引き続き採用する予定。小売業年間商品販売額については、変更し、店舗、事務所等の新規開業数を採用することを予定している。また、滞在時間の長さもアンケート結果から浮彫になっており、時間消費型の中心市街地を目指すことから、滞在時間1時間30分以上の割合を増やしていくという指標を考えている。最後に、まちなか居住ということで、1期は人口の増減のみを比較していたが、社会動態を考えている。人口の増減のうち、死亡とか出生とかを除いた数字で、純粹にまちなかに転入、転出した人の増減である。この4つを検討している。

#### 4. 第2期山口市中心市街地活性化基本計画の骨子（案）並びにスケジュール（案）について

山口市から別紙資料に基づき説明。要点については下記のとおり。

##### ○スケジュール

基本計画の骨子案についてご承認いただければ、具体的な事業を盛り込んで、基本計画への策定に結びつけていくことになる。

スケジュールとしては、2期計画案は、11月末までに作成したいと考える。6月～8月で具体的な事業等を整理していくことになる。2期計画の計画期間は来年4月からとなる。

##### ○2期計画の策定について

2期計画については、第1期計画の効果と課題を踏まえた、次の段階（ステージ）における実行計画と捉え、計画期間内での「選択と集中」を基本とした優先度の高い取り組みを示していく必要があると考えている。

##### ○計画区域の設定

2期計画では、1期計画区域を基に、既存ストックの有効活用と周辺地区のとの連携の視点から、新たに公設川端市場跡地を加えた約76haを考えている。

##### ○第2期基本計画の位置づけについて

2期計画については、①集う、②営む、③住むの視点で整理している。

##### <基本方針>

①集う 様々な交流機会の創出によりにぎわいのある中心市街地の形成

目標：まちなかに来る人を増やし、楽しんでもらう

②営む 地域資源を活用した経済活動により活力のある中心市街地の形成

目標：まちなかの新陳代謝を図り活力を高める

③住む 個々のライフスタイルに合った安全で快適に暮らせる中心市街地の形成

目標：まちなかの定住人口を増やす

<意見>

- 防犯カメラの設置について計画に盛り込んでいただけないだろうか。犯罪の発生件数については年々減少しており、いろんな要因があるが、万引きや自転車盗難については、防犯カメラがあることにより抑止力にもなっている。何かあった時には捜査の中で重要な証拠になっている。今後計画を策定される上で、配慮をいただければ。
- 骨子素案についてですが、今後の取り組み方針について、事業分野を整理した表があるが、大項目の6つの項目の中の6番まちなか居住の推進とあるが、事業イメージをどのようにお考えなのか？
- まちなか居住の推進については、中項目で3つの体系に整理しており、①住宅整備及び定住の促進については、第1期では借上げ型市営住宅を整備しており、引き続き、民間活力を生かした形での住宅整備を考えている。②住環境の整備については、先程も課題の中で説明した通り、道路幅員が狭かったり、宅地が接道していなかったり、木造住宅が密集した地区もあることから、建物の更新ができないという問題がある。このような課題を解決するために、国の交付金を活用し、道路幅員の拡大や老朽建築物の解体、共同建て替えを行う事業を考えている。③高齢者や子育て世代への対応ですが、多世代に対応した中心市街地の形成が必要と考えている。商業活性化以外にも、住環境についても投資をしていくことで、相乗効果が生まれ、地域コミュニティの強化に繋がっていきたいと考えている。
- 骨子の内容が膨大なのですぐに理解することが難しい面があるが、一番感じたのは、丁寧に市民アンケート調査をされた上で骨子をつくられており、1期計画の効果検証をされつつ、市民アンケートを参考に、2期計画への課題、方針などをしっかりと分析され、まとめられていると思う。これから具体的な策定作業を進められると思うが、協議会としての役割はどのように考えればいいのか。
- 今後は、本日の骨子をたたき台として、具体的な事業を盛り込みながら作り上げていくようになる。全体会議には、計画書としてある程度まとめたものを提示させていただいて、その内容について、ご意見・提案を頂くようになる。それまでも、事務局会議を含め、いろんな意見を頂くような場を市としても作っていきたいと考えている。そうした中で、市が計画案としてまとめさせていただいて、運営幹事会、全体会議で意見をいただいて最終的にまとめていきたい。
- 全体会議、運営幹事会はどれくらいの頻度で行われるのか？
- 今から庁内組織で計画を作っていくようになるが、その中で、時期を見て途中経過ということで、まず運営幹事会を開いていただき、それをまた庁内の組織にフィードバックして計画に反映させることを繰り返していきたい。
- 山口市からお金が流出しないように取り組んでもらいたい。端的に申し上げると、私事ですが、この商品が欲しいと言われた場合、以前であればどんな商品でも手に入っていたが、流通が縦割りになっており、商品仕入が不可能になっ

ている。その商品を仕入れようとすると、相当の売上が維持できないと相手にしてくれない。市場が小さいと商いが縮む。私どもではどうにもならない現状がある。

○行政としての関わりが難しい面はあるが、3つの視点から総合的に課題を解決していきたい。

～異議なく承認～

#### 5. 山口駅前拠点整備専門部会の活動報告について

中村部会長から別紙資料に基づき報告。

旧ぼるるプラザの利用については、様々な案が出たが、部会の結論としては、旧ぼるるプラザを解体し、ロータリーと市の遊休地を合わせた土地を活かして、骨子の中にあるゲート機能で出来るような方向で動けたら良いのではということであった。ここまでの報告が駅前専門部会の役割であったので、駅前拠点整備専門部会については解散をしている。

#### 6. 広報誌の報告について

事務局から広報誌の作成趣旨、発行部数、配布エリア等について説明。

これまで中心市街地の各種事業を進めて来たが、中心市街地の魅力や情報などが市民に広く周知が出来ていなかったり、中心市街地の活性化がなぜ必要なのかということが、十分理解いただけていない現状があった。2期計画の策定を進めていく上で、改めて、市民の方に広く理解、関心をもっていただき、様々なご意見をいただきながら計画策定を進めていきたいという考えである。作成部数は、約5万部。配布方法は、山口都市核地域及びその周辺地域に関しては、6月1日発行の市報配布と併せて、各世帯に配布。その他のエリアについては、各地域交流センターや図書館等に備え付けを行う。

#### 7. 中国経済産業局、中小基盤整備機構からの情報提供について

中国経済産業局森分課長から別紙資料に基づき補助金の制度概要、中心市街地活性化関連予算状況・補助金の公募状況について説明が行われた。

続いて、中小企業基盤整備機構吉田参事から別紙資料に基づき中国管内中活協議会支援状況、基本計画の認定状況等について説明が行われた。

以上